

取組：「英語教育改善推進プラン」に基づいた生徒の英語力・教員の指導力向上に向けた取組

当該地域の特性等を踏まえた課題分析の視点

小学校

- ・Small Talk等の言語活動を通じた授業づくりに課題がある。
- ・指導と評価の一体化のためのCAN-DOリストについて周知が十分でない。

中学校・高等学校

- ・授業改善・学習改善につながるパフォーマンステストの在り方に課題がある。
- ・小中連携の必要性が教員間で共有できていないため、小中連携の実施状況が、目標値を下回り、地域間で差がある。

指導と評価、小中連携等において、適切で効果的な実施方法の具体的なイメージをもてていないことが要因として考えられる。

Plan

■取組計画（体制）

1. パフォーマンステスト、小中連携の具体的な方法の発信・周知（大学教授等からの指導助言、英語教育推進リーダー等を活用）
2. 生徒の英語力向上のための教員の指導力向上（大学教授等を講師として招聘）
3. 教員・学校・市町等教育委員会等との連携強化（県内学校・市町等教育委員会・市町等教育研究所との連携）

Do

■取組

1. 研究・開発チームによる取組
 - ①パフォーマンステスト研究・開発チームによる事例研究
 - ②小中連携研究・開発チームによる連携方法の研究
 - * チームメンバーの学校において、取組を参観し協議・助言
 - * 年3回のチーム会議で、各校（区）の取組や実践の共有
 - * ①②とも、研究の取組を県内小中学校教員へ英語通信で発信
2. 教員の指導力向上に向けた教員研修の実施
 - * 集合とオンラインを組み合わせる研修を実施（例：離島の中学校と大学等を結んだライティング授業研修の実施）
 - * 地域のニーズに沿った内容で地域ごとに研修を実施
3. 教員・学校・市町等教育委員会等への情報発信と連携・支援
 - * クラウドや英語通信を活用した情報発信・連携
 - * 年4回の英語担当指導主事会で、英語教育の課題や情報交換

Check

■検証結果

＜検証方法1：令和3年度英語教育実施状況調査＞(R3の値は暫定値)

		生徒英語力 (%)	教員英語力 (%)	パフォーマンステスト		小中高連携 (%)
				S(回)	W(回)	
高校	R1	41.4	78.0	1.3	2.1	26.4
	R3	41.8	76.9	0.9	1.2	11.3
中学校	R1	37.1	37.9	2.8	1.7	68.2
	R3	42.8	40.0	3.9	2.4	71.8

※小中高連携(%)の割合は、高校が中高連携の割合・中学校が小中連携の割合を示す。

＜検証方法2：研修受講者や県内各校種の英語担当教員対象の質問紙調査＞

- ・校内や研究協議会等でパフォーマンステストのあり方を提案し、パフォーマンステストの活用方法を伝えていきたい。【パフォーマンステスト研究・開発チーム参加の教員の回答】
- ・今年度の取り組みを振り返り、指導方法や内容の共有を来年度以降も取り入れていきたい。【小中連携研究・開発チーム参加の教員の回答】
- ・自身の授業作りや、授業展開で大切な視点、生徒への学びのフィードバック方法など、授業においてすぐにでも意識していきたいことを沢山学びました。【研修受講者の回答】

Action

■改善案

- ・他県と合同で研修を実施し、先進的な取組や指導方法について学ぶ（高）
- ・クラウド等を活用した、事例の普及に重点を置いた教員研修を実施する。
- ・引き続き、2つの研究・開発チームで活動をおこない、研究成果や実践の具体例等を英語通信等で県内に発信する。小中連携研究・開発チームについては、高等学校も加え、小中高連携研究・開発チームとする。

成果の普及

■ 今年度発行した英語通信

(一部抜粋)



■ 文部科学省解説動画：外国語の指導におけるICTの活用について<県立松阪工業高等学校の実践>

<http://www.youtube.com/watch?v=bcANfpMc3m8>

